



~検査の生産性を倍にする画期的な検査方法!~

『新周辺視目視検査法』

「集中力」に頼った「不良探し」をいませんか？

外観目視検査の一般的なイメージは「集中力」、「不良探し」であり、とにかくよく見ることが求められています。実は、これこそが見逃しが無くならない大きな要因です。その訳は、「集中力」は短時間しか持たないこと！！
 それでは、ベテラン検査員はどうしているかという点、「**良品の確認**」と「**リズム**」で検査をしています。

従来の検査では「良く見る」ことが指導されてきましたが、ベテラン検査員の機能分析の結果、周辺視、瞬間視、衝撃性眼球運動という視覚システムを活用しています。これらの前提条件とリズムによって生産性は倍になり、さらに光源の種類や強さを最適化することで検査での見逃しが大幅に削減できます。

セミナーでは、この「周辺視目視検査法」を理解していただけるように解説します。日ごろ検査での見逃しや長期間かかる検査員の育成でお悩みの指導者や管理者、マネジメントされている方々に聞いていただきたい構成となっています。

※事前に“質問シート”をご記入いただきます。当日、講師があなた達の疑問にズバリお答えします！！

日 時 / 2013年11月15日 (金) 10:00~17:00
 会 場 / 東京・渋谷近辺の会議室
 受講料 / 会員 33,600円 一般 37,800円
 (消費税・テキスト代を含みます)

講 師

周辺視目視検査研究所 所長
 元(株)日立GST IEプログラム・マネージャー
佐々木 章雄 氏

【 プログラム 】

1. 周辺視目視検査法の理解

- ① 従来の目視検査の問題点
- ② 大脳視覚システムの機能と限界の理解
- ③ 従来方法から周辺視目視検査の変更点
 - 中心視 から「周辺視」へ
 - 活動性眼球運動 から「衝撃性眼球運動」へ
 - 凝視 から「瞬間視」へ
 - 欠点探しから良品の確認へ

2. 周辺視目視検査法の導入方法

- ① 原理の正しい理解
 - 周辺視目視検査法は大脳視覚システムの疲労を削減する
- ② 限度見本の作製
 - 脳内の正確なデータベースの作りこみ
 - 正確な見え方の訓練
- ③ スムースなハンドリング
 - 1日中作業をすることを考慮したリズムカルな動作の構築
- ④ 正しい姿勢
 - リズムが良いと疲労の少ない正しい姿勢になる
- ⑤ 導入時の特徴
 - リズムができていない時に特有の現象

3. 見逃しの原因となる検査対象物と光源の関係

- ① 明るいほど見易いかどうか
 - 周辺の細胞は焦点の細胞より1000倍光に敏感
 - 明るすぎは肌荒れ髪の痛みの原因
- ② 検査用途ごとの光源の種類と適用方法
 - 平行光、拡散光、透過光の正しい使い方で見精疲労は大きく改善する
- ③ 単純な見逃しに多い「明順応」と「暗順応」
 - 「明順応」と「暗順応」はどんな現象か
 - 危険な状況である「馴化」とはどんな現象か

4. 事例紹介

- タイの部品メーカーでの適用事例

5. 個別相談

- あなたの疑問にお答えします！！

講師紹介

周辺視目視検査研究所 所長

元(株)日立GST IEプログラム・マネージャー 佐々木 章雄 氏



1970年日本IBM 藤沢工場入社以来、一貫してIE業務に従事。2003年にHDD事業部が日立製作所に売却され、早期退職し、中国企業でIEを指導。その後、(株)日立グローバル・ストレージ・テクノロジーズ(以下日立GST)の海外量産工場にて生産性向上の指導を担当。2012年、周辺視目視検査研究所所長に就任。

1998年には、特に専門とする動作分析を基礎とし検査作業の分析と機能展開により、「周辺視目視検査法」を開発。現在は日立GSTを退職し、元慶應義塾大学 川瀬武志先生のグループの先生方と「周辺視目視法」の共同研究を行うかわら、「周辺視目視検査法」のセミナーやコンサルタント活動を展開している。また、香川大学石井明教授のグループと自動化を目的とした研究も行っている。

参加申込は

FAX (03)-3400-8694
ホームページ <http://www.j-ie.com/>

下記ご記入のうえ
このままFAXにて
お申込みください。

『新周辺視目視検査法』

CH41 2013年11月15日開催 植木

■ 貴社名		■ 所在地(〒 -)	
氏名		所属/役職	
派遣責任者	フリガナ	E-mail:	TEL: FAX:
参加者(1)	フリガナ	E-mail:	TEL: FAX:
参加者(2)	フリガナ	E-mail:	TEL: FAX:
合計【 】名		参加費【 】円	

■ キャンセル規定に関して ■

申込受け付け後、おおよそ開催日の10日前になりましたら、参加証(集合案内)、請求書を郵送いたします。正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方にご出席をお願いします。代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けます。

〔(注)※キャンセルは、必ずE-mail、または、FAXにて、日本IE協会までご連絡下さい。〕

- ・開催日の7日前～前々日(開催日初日を含まず起算): 参加費の50%
- ・開催日の前日および当日: 参加費の全額(料金のご返金はできません)

お申込・お問合せ

日本インダストリアル・エンジニアリング協会
THE JAPAN INSTITUTE OF INDUSTRIAL ENGINEERING
〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1
TEL.03-3400-8715 FAX.03-3400-8694
E-mail: jiie@j-ie.com Website: <http://www.j-ie.com/>

担当: 第一企画部
植木

■ 個人情報の取扱いについて ■

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、(公財)日本生産性本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、(公財)日本生産性本部個人情報保護方針の内容については、(公財)日本生産性本部ホームページ (<http://www.jpc-net.jp/others/kojin.joho.html>) をご参照願います。

参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込いただきますようお願いいたします。

2. 個人情報は、『日本IE協会』の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに日本IE協会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。

3. 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

4. 各種ご案内の送付などを外部に委託することがありますが、委託先にはご本人、ご連絡担当者へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用させることはありません。

5. ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。この件については、日本IE協会(会員担当:連絡先 TEL03-3400-8715)または(公財)日本生産性本部総務部個人情報保護担当窓口(TEL03-3409-1112) までお問合せください。【責任者:個人情報保護管理者(総務部長)】

6. お申込書に個人情報を記入するか否かの判断はご本人次第ですが、必要な個人情報が不足していた場合は日本IE協会からのサービスの全部、または一部が受けられないことがあることをご了承願います。

7. 日本IE協会は、クッキー等のご本人が容易に認識できない方法によって個人情報を取得することはありません。

8. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。